校種：小学校　　対象学年：６年　　教科：社会科

「日本人拉致問題」について調べてみよう

**１　単元名　　「新しい日本、平和な日本へ」（東京書籍）**

**「新しい日本へのあゆみ」（日本文教出版）**

**２　本時のテーマ　　「日本人拉致問題」について調べてみよう**

**３　本時の目標**

|  |  |
| --- | --- |
| 知識技能 | ・「日本人拉致問題」の概要と解決に向けた政府や人々の取組について理解している。 |
| 思考判断表現 | ・拉致問題が発覚した出来事を手がかりに、北朝鮮の指導者たちのねらいを　考え、自分なりの考えをまとめることができている。・アニメ「めぐみ」をみて自分なりの感想を書くことができている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・自分たちの考えを伝え合い、意欲的に拉致問題について考えようとしている。・拉致問題について、もっと知りたいという意欲が高まっている。 |

**４　展開例**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 主な学習活動 | 予想される児童の反応 | 教師の支援・指導 |
| つかむ | １　日本では、１９７０年代から１９８０年代にかけて、複数の人が行方不明になった事を知り、拉致問題への関心を高める。 | ・一体何が起こったの？・何か聞いたことがある。・もしかして「北朝鮮による拉致問題？」 | ○　子どもたちの自由な発言を求めるが、「北朝鮮」という言葉が出てきた場合には、以下のことを抑える。　・北朝鮮の地図上の位置　・現在、朝鮮半島は北朝鮮と　　韓国という国に分かれている。　・北朝鮮の一部の指導者が原因となっているが、北朝鮮の人々は悪くないことを押さえておく。 |
| 考える | ２　拉致問題を起こした北朝鮮の意図（目的）について考える。（約２５分）（１）拉致問題が明らかになるきっかけになった事件について知る。①シン・グァンス事件②大韓航空機爆破事件③亡命工作員の証言④北朝鮮からの手紙（２）北朝鮮指導者の意図（目的）について考える。【意図（目的）】北朝鮮と韓国を統一させるために、日本人を使って韓国でスパイ活動を行おうとした。 | ・日本人を何かに利用したい？・韓国も関係あるの？ | ◆資料をもとに授業者が説明する。参考：政府拉致問題対策本部ホームページwww.rachi.go.jp○　子どもたちが考えるテーマとしては難しいので、個人で考えるより、グループで考える時間を長くする。◆拉致問題リーフレット○リーフレットを全員に配布し、読ませる。○北朝鮮指導者の意図（目的）を知らせる。 |
|  | ３　アニメ「めぐみ」を視聴し、拉致問題についての理解をさらに深める。（１）アニメ「めぐみ」を視聴する。（２）感じたこと、考えたことを出し合う。 | ・めぐみさんや家族がかわいそう。・帰って来れた人もいるけど、まだ帰れないでいる人がいるんだね。・何か自分たちにもできることがあるのかなあ。 | ○　リーフレットにもあるアニメ「めぐみ」を視聴することを伝え、関心を高める。○　アニメ「めぐみ」をみた率直な感想を出し合わせる。 |
| まとめる | ４　拉致問題解決のために、自分たちにできることを知る。 | ・まず知ることが大切なんだね。 | ○　北朝鮮指導者が日本人の拉致問題を終わったことにして、忘れさせようとしていることを伝え、日本の人々が今も拉致問題を勉強し、何とかしたいと思っている事を北朝鮮指導者にアピールすることが大切であることを伝える。○政府拉致問題対策本部にたくさんの資料や動画があることを提示し、学習する意欲を高める。 |

**５　資料**

（１）拉致問題をめぐる出来事について

①シン・グァンス事件（1980年）

　　…日本人（原さん）を北朝鮮に連れ去り、原さんになりすましたスパイを韓国に送り込んでいた。この人物が韓国で逮捕され、このことがわかった。

②大韓航空機爆破事件（1987年）

　　…韓国の飛行機が北朝鮮のスパイ（工作員）によって爆破された。そのスパイが逮捕され、北朝鮮に連れ去られた日本人（田口さん）に教育されたことを話した。

③亡命工作員の証言（1986年）

　　…韓国に亡命した元北朝鮮のスパイ（工作員）によって、日本から北朝鮮に連れ去られた人がいることが語られた。（リーフレット表紙の横田めぐみさんと思われる。）

④北朝鮮からの手紙（1987年）

　　…ヨーロッパで行方不明になった人（松木さん）から、北朝鮮に連れ去られたことが書かれた手紙が家族の元に届く。

（２）人権教育に係るリーフレット「北朝鮮による拉致問題を知っていますか」について

　　　　このリーフレットは、「佐賀県議会北朝鮮拉致問題早期解決促進議員連盟（“拉致議連”）」と「北朝鮮に拉致された日本人を救出する佐賀県民の会（“救う会佐賀”）」によって、令和５年に作成、配布されたものです。「日本人拉致問題」については、小・中学校の社会科「学習指導要領（平成２９年告示）解説」にも示されています（小学校１２８ページ、中学校１２１、１６１ページ）。日本人拉致問題を教える際にぜひご活用ください。

（３）拉致問題の解決に向けた政府の取組

◆日本人拉致問題に関する資料の作成・提供（ホームページ）

◆「拉致問題を考える集い」の開催

◆拉致問題に関する教職員等研修　※毎年、県教育委員会で参加者を募集。

◆拉致問題に関する中学生サミット　※中学生対象。毎年、県教育委員会で参加者１名を募集。

◆北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール　※中・高生対象。毎年、募集。

◆署名活動

◆ブルーリボン運動